令和７年度　野田市立せきやど図書館及び
関宿コミュニティ会館指定管理者管理運営状況調書

担当課　興風図書館

評価基準	評価項目	指定管理者自己評価	担当課評価	特記事項
施設の効用（設置目的）が最大限発揮されるものであること	サービス向上のための取組状況	B	B	
管理経費の縮減が図られるものであること	①指定管理に係る経費の収支見込について	B	B	
	②経費縮減のための取組	B	B	
地元住民の雇用、物品及び役務の調達に際して、地元業者へ配慮すること	地元住民の雇用及び地元業者への配慮	B	B	
事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	人員配置について	B	B	

総合所見

令和８年１月９日に興風図書館長及び担当者が当該指定管理施設を訪問し、現地確認及び聞き取りを実施しました。

利用状況につきましては、せきやど図書館における個人貸出点数が、令和６年度と比較すると、12 月末現在で 2,007 点減少しており、依然として減少した状態が続いており、前年度 12 月同月比についても、963 件減少しています。

関宿コミュニティ会館につきましては、12 月末現在で 36 件、利用人数で 2,275 人減少しています。このような状況を改善する方策として、民間の知見や情報力を生かした魅力あるイベントをコミュニティ会館で開催することにより、読書への啓発や機運を高めるきっかけづくりを行っております。

施設の管理面においては、保守点検についておおむね業務計画書のとおり実施されており、優先順位をつけて破損や故障個所について適切かつ迅速に補修・修繕を実施しているものと認められます。

指定管理者の経営状況については、損益計算書等により経営基盤が安定しているものと認められます。

指定管理者職員については、職員 17 名中 12 名が野田市在住者となっており、地元からの雇用促進に寄与するものとなっていると認められます。

全体的には、指定管理業務に係る仕様書に基づき、おおむね適正に管理運営がなされていると評価できます。しかし、更なる施設利用の増加を目指して、より一層のサービスの向上及び工夫に努めていただきたいと考えます。